



地域創生マネジメントシステム

隊員の活動と課題を、一元管理。

目標・スケジュール・活動報告・経費、そして任期後の創業準備まで。
県庁・市町村・隊員が、同じ画面で見られます。

自治体ご担当者さま向け ご提案資料 | iGrec 株式会社

現状の課題 — 情報が人に溜まり、記録に残らない

いずれも公表調査で裏づけのある事実です。共通しているのは「情報が人に溜まり、記録に残っていない」という点でした。

ISSUE 01

66%

相談先が担当職員 1 人に集中

隊員が困ったときの相談相手として最多に挙げたのが、担当の行政職員。同僚隊員は 42%、OB・OG は 27% にとどまります。窓口が 1 人に寄れば、その 1 人が不在の日に情報は止まります。

出典：JOIN 令和 7 年度／複数回答

ISSUE 02

45%

「聞いていた話と違う」が消えない

着任前の想定と違ったと答えた隊員の 45% が、理由に「着任前に言われていた活動内容と実際が違った」を挙げました。2019 年調査でも、早期退任 604 人のうち 106 人がミスマッチを理由としています。

出典：JOIN 令和 7 年度／総務省 手引き第 5 版

ISSUE 03

51%

活動費はいまも都度の個別承認

活動費の手続きを「個別承認型」と答えた隊員が過半数。1 件ごとに申請と承認が発生し、担当職員の事務は隊員の人数分だけ積み上がります。

出典：JOIN 令和 7 年度

制度は伸びた。現場の管理手段は、伸びていない。

隊員数は過去最多を更新し続ける一方、受入自治体の数はほぼ横ばい。増えた分は既存の自治体が引き受けています。

隊員数（令和 7 年度）

8,196 人

前年度 +286 人。過去最多。

取組自治体

1,187 団体

受入可能の約 81%。増加は年 11 団体。

1 自治体あたり平均

6.9 人

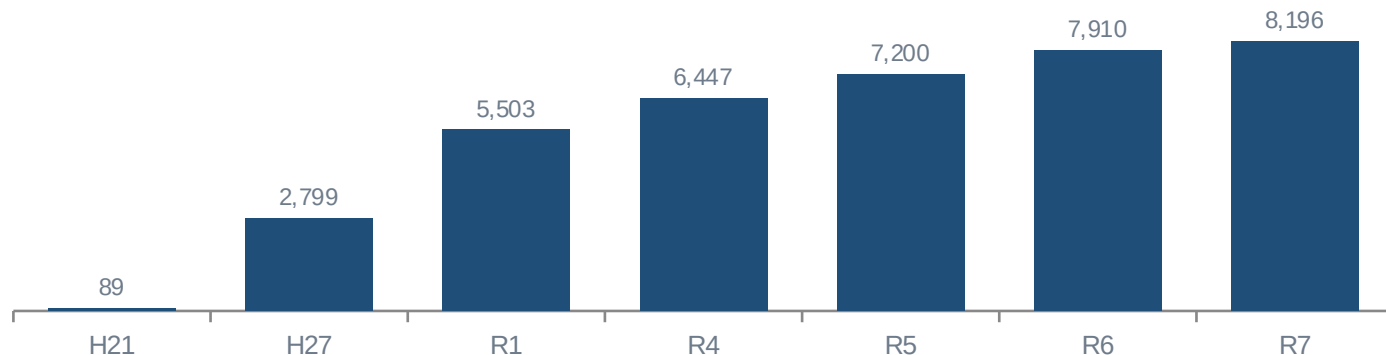
$8,196 \div 1,187$ 。担当職員は増えず。

政府目標（令和 8 年度）

10,000 人

達成なら 1 団体 8 人超の計算。

地域おこし協力隊員数の推移（人）



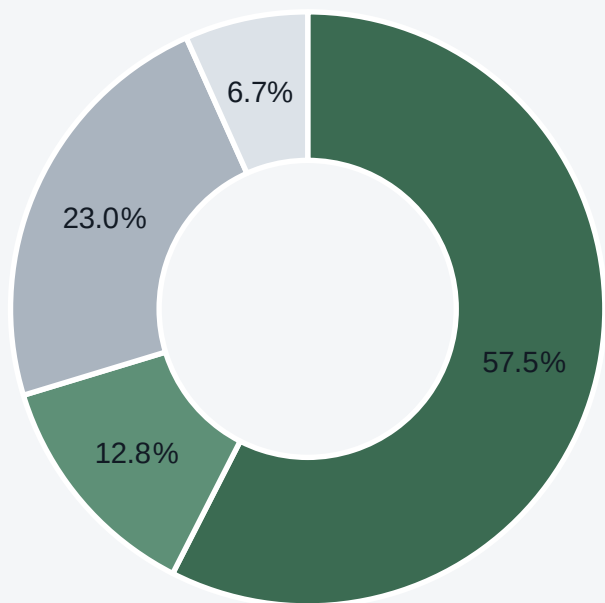
読み取れること

隊員数は 17 年で約 92 倍。一方、取組自治体は令和 5 年度から令和 7 年度で +23 団体にとどまります。

増加分の大半は、すでに受け入れている自治体が吸収している——つまり「1 人の担当職員が見る隊員の数」が静かに増え続けている構造です。

定住率 70.3%。裏を返せば、3 割が地域を離れる。

令和 2 ～ 6 年度に任期を終えた 8,762 人の進路です。自治体にとっての最終 KPI は、任期中の活動量ではなく、この一点にあります。



■ 同一市町村内に定住 ■ 近隣市町村内に定住
■ その他の地域へ転出 ■ 上記以外

定住した隊員の進路（同一市町村内 5,038 人）

45.6%

起業

34.8%

就業

11.6%

就農・就林

1.4%

事業承継

最も多い進路は「起業」。任期後の自立支援が、そのまま定住率に効きます。

隊員の満足度が最も低いのは「任期終了後の生活イメージ」

期待度 **4.0** → 満足度 **3.2**

差 0.8 は全 10 項目中で最大。「定住しない理由」の 23% は『地域内で仕事を見つけるのが難しい』でした。

記録する人と、見る人と、次に引き継ぐ人を、同じ画面に。

追加の報告作業を増やさないことが設計の前提です。隊員が自分のために記録したものが、そのまま行政の管理データになります。



FOR MEMBERS

隊員が、自分のために記録する

活動目的 → 戦略タスク → 年度目標 → アクションの4階層で、日々の動きが目標にどう効いたかが見える。月次報告と精算書はその記録からPDF出力されるため、報告のための作業が別途発生しません。



FOR ADMINISTRATORS

行政が、横断で状態を見る

配下の隊員全員の進捗・活動時間・報告提出状況が1画面に並びます。「今月まだ動きがない隊員」が名簿ではなく状態として見えるので、面談のタイミングを勘に頼らず決められます。



FOR THE REGION

記録が、任期後の資産になる

3年分の活動実績・経費・成果が、そのまま事業計画書と融資申請の材料になります。定住率という自治体のKPIに、最後まで手が届く設計です。

県庁・市町村・隊員の3階層。見える範囲は権限で決まる。

同じデータを、立場ごとに違う粒度で見ます。隊員が同じことを二度入力する必要はありません。

県庁

PREFECTURE

- ・ 県庁ダッシュボード — 県の活動目的を軸に県内を集計
- ・ 市町村・隊員管理 — 県内の市町村と隊員を横断で把握
- ・ 行政からのお知らせ — 県内の全隊員へ一斉配信

市町村

MUNICIPALITY

- ・ 協力隊員 管理ダッシュボード — 担当隊員数・活動件数・完了率・隊員別状況
- ・ 配下隊員の活動報告 — 「報告提出 n/n」で未提出者が一目でわかる
- ・ 配下隊員の年度目標／活動スケジュール（全員表示）
- ・ 行政からのお知らせ — 自市町村の隊員へ配信

隊員

MEMBER

- ・ 活動管理 — ダッシュボード／活動目的／年度目標／スケジュール／活動報告／経費・請求
- ・ コミュニティ — 全国の隊員の活動を分野別に閲覧、良い取組は自分の計画に複製
- ・ 創業支援 — ジャーニーマップ／準備チェックリスト

着任から任期後まで、抜けるところがない。

協力隊の任期は最長3年という決まった長さを持っています。創生MSの機能は、その時間軸の上に置かれています。



隊員が使う画面

隊員が入力するのはこの画面群だけです。行政が見るデータは、ここから自動的に組み上がります。

● ダッシュボード

任期進捗（残り任期・進捗率）、今月の活動時間と完了アクション、未精算経費、今後 7 日間の予定、戦略タスク KPI、月別推移グラフ、年度切替の WBS ガントチャート。

● 活動スケジュール

週間／月間表示。「活動（ACTIVITY）」と「アクション（ACTION）」を分けて記録。

● 経費・請求

月を切り替えて合計・件数・精算済・未精算を集計。費目別の内訳と、1 件ごとの精算ステータスを管理。

● 活動目的 / 年度目標 【締切スタック】

任期全体のロードマップと、年度ごとの目標・予算管理。期限超過と締切間近のアクションが「締切スタック」に積み上がります。

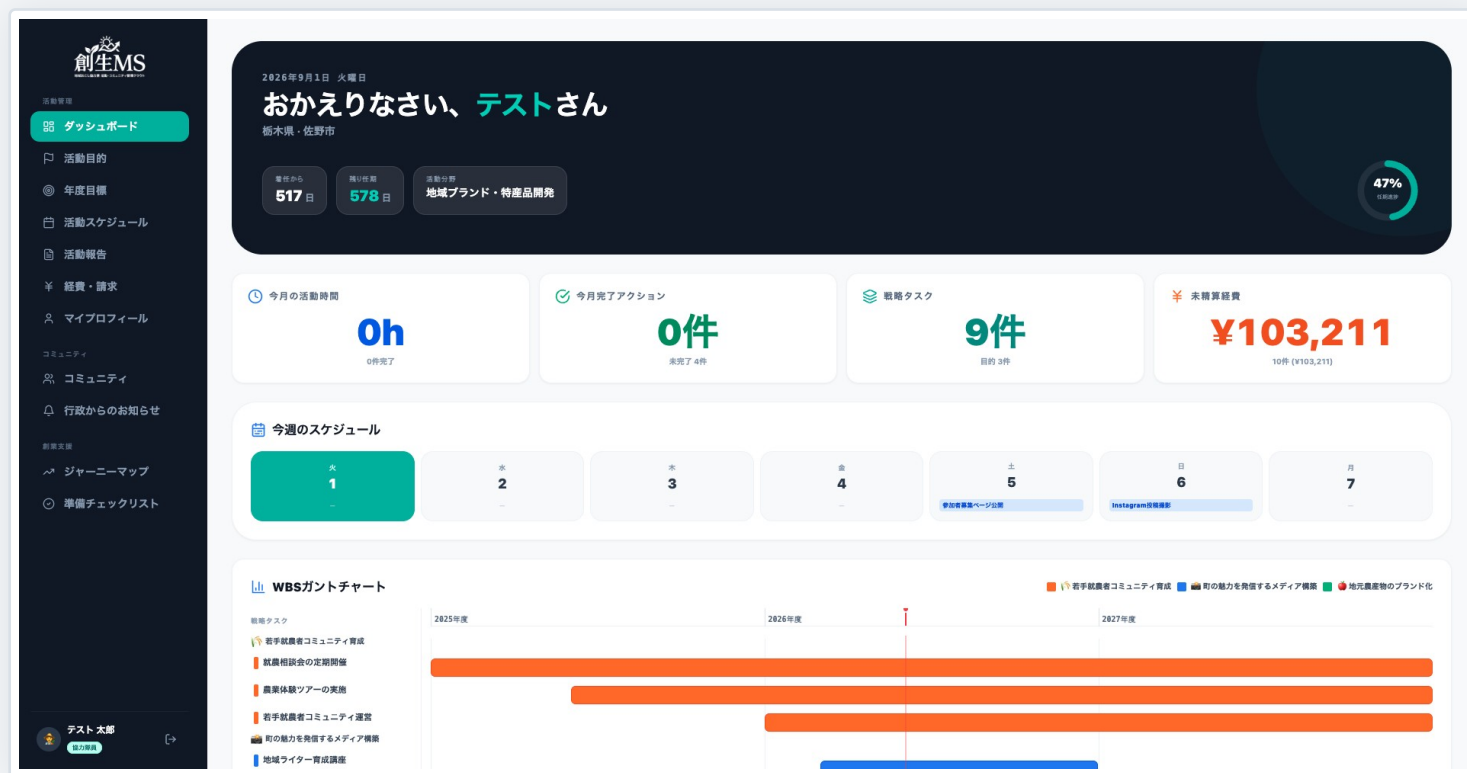
● 活動報告 【PDF 出力】

月次・年度の報告。戦略タスク別の進捗・成果・課題、予算状況、所感を記入して PDF 出力。

● コミュニティ／お知らせ

活動分野 11 区分で全国の隊員の投稿を閲覧し、参考になる取組は自分の計画へ複製。行政からの公式情報も同じ画面で受信。

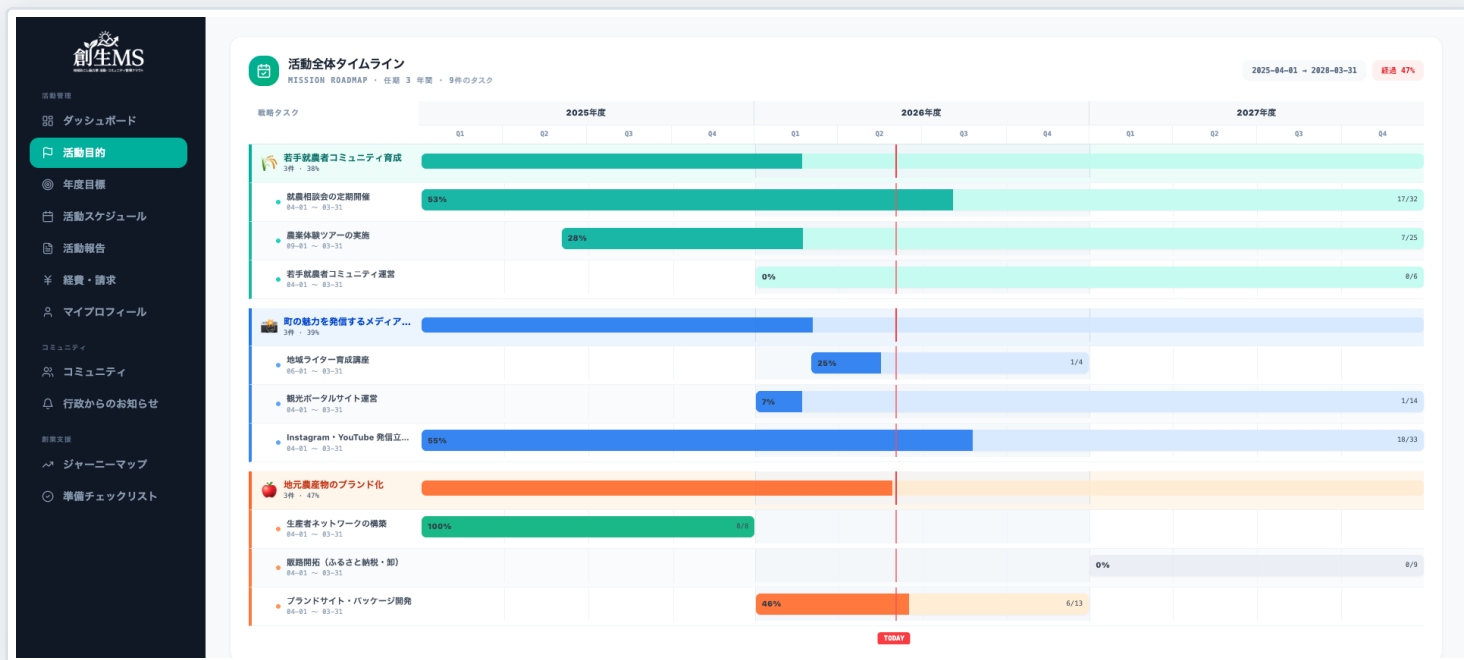
ダッシュボード — 残り日数と、今月の動きが同じ画面に



隊員が使う画面

- **残り任期が常に見える**
着任からの日数、残り日数、任期進捗率。3年という締切を、隊員と担当職員が同じ数字で共有できます。
- **今月の状態が4つの数字に**
活動時間、完了アクション、戦略タスク、未精算経費。報告を待たなくても、いま何が起きているかが分かります。
- **今週の予定と全体計画が続く**
同じ画面の下に、今週のスケジュールと、任期3年ぶんのWBSガントチャートが並びます。目的ごとに色分けされ、遅れが線で見えます。

活動全体タイムライン — 任期 3 年ぶんの計画が 1 枚に



隊員が使う画面

● 任期の全期間を四半期で

2025 ～ 2027 年度を Q1 ～ Q4 で並べ、9 件の戦略タスクがどこに置かれているかを一望できます。右上の「経過 47%」が、任期という持ち時間の残りを示します。

● 活動目的ごとに色が分かれる

3 つの目的で色分けされるため、どの目的に手が回っていないかが色の偏りで分かります。

● TODAY の縦線で遅れが見える

赤い線より左に取り残されているタスクが、遅れているタスクです。進捗率とアクション件数（17/32）も同じ行に並びます。

活動目的 — ビジョンを、数字と予算に結びつける



隊員が使う画面

● ビジョンを一文で置く

「次世代の担い手を町内外から呼び込み、5名以上の新規就農・定着を実現する」。着任時にここを自治体と隊員で握ります。

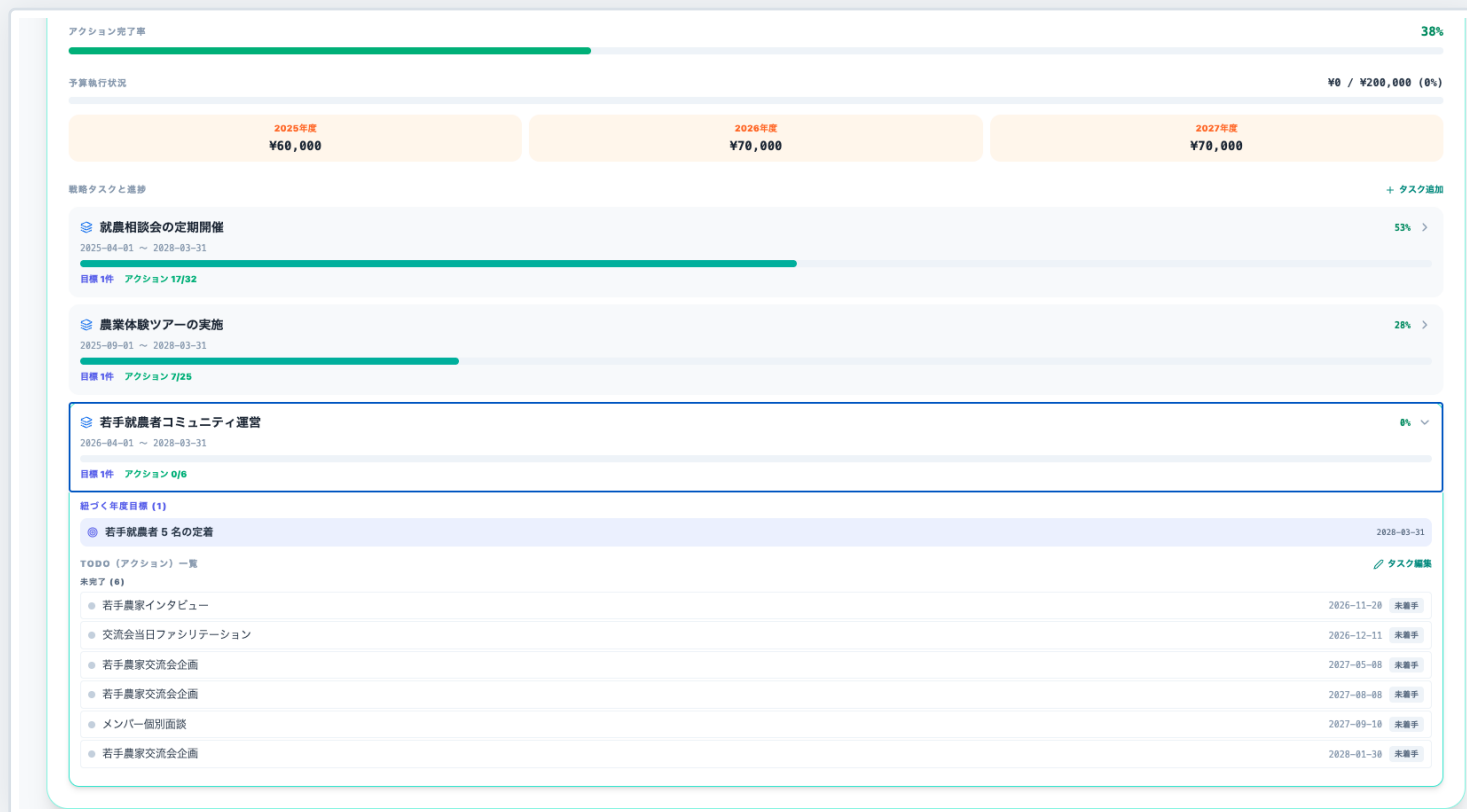
● 4つの数字で状態が分かる

戦略タスク3件、年度目標3件、アクション24/63、総活動時間96h。目的の単位で、どれだけ動いたかが集計されます。

● 予算を年度に割り付ける

2025年度6万円・2026年度7万円のように年度配分を持ち、執行状況が同じ画面に出ます。「聞いていた話と違う」を、着任時に文字と数字で防ぎます。

4 階層 — 目的から、今週の TODO まで一本でつながる



隊員が使う画面

- **戦略タスクに進捗が出る**
「就農相談会の定期開催 53%（アクション 17/32）」のように、タスク単位で完了率と残件数が並びます。
- **年度目標がぶら下がる**
タスクを開くと「若手就農者 5 名の定着（2028-03-31）」という年度目標が紐づいて表示されます。
- **TODO まで降りられる**
その下に未完了のアクションが期限付きで並びます。活動目的 → 戦略タスク → 年度目標 → アクション。この 4 階層が、報告と面談の共通言語になります。

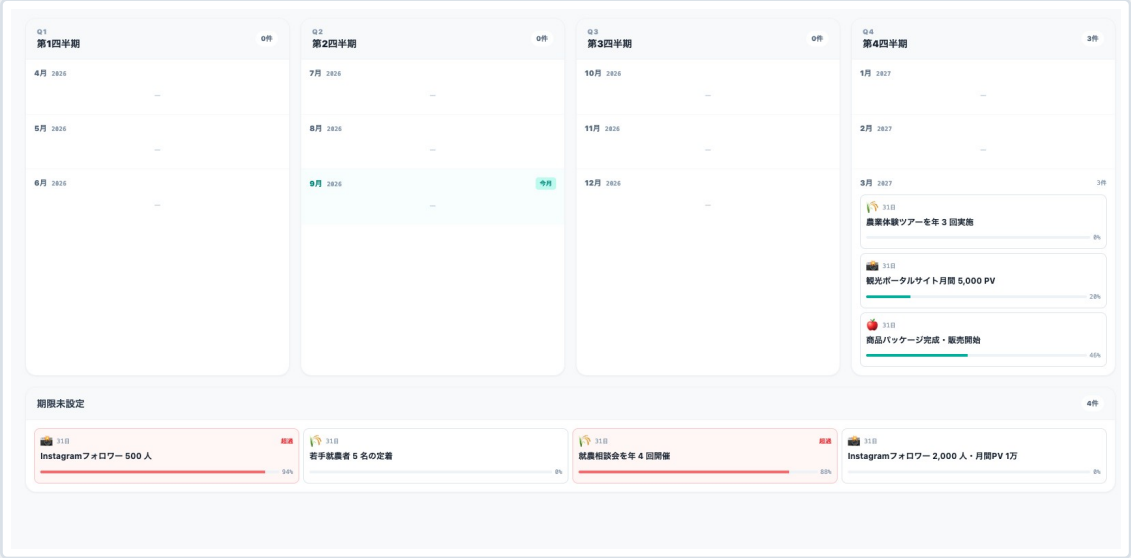
年度目標 ― 一覧でも、四半期カレンダーでも

一覧表示

年度の KPI と締切スタック

カレンダー表示

四半期ごとの目標配置



● 年度で切り替える

2025・2026・2027年度のタブで切替。活動目的・戦略タスク・年度目標の達成と、アクション完了（36/69）が年度単位で並びます。

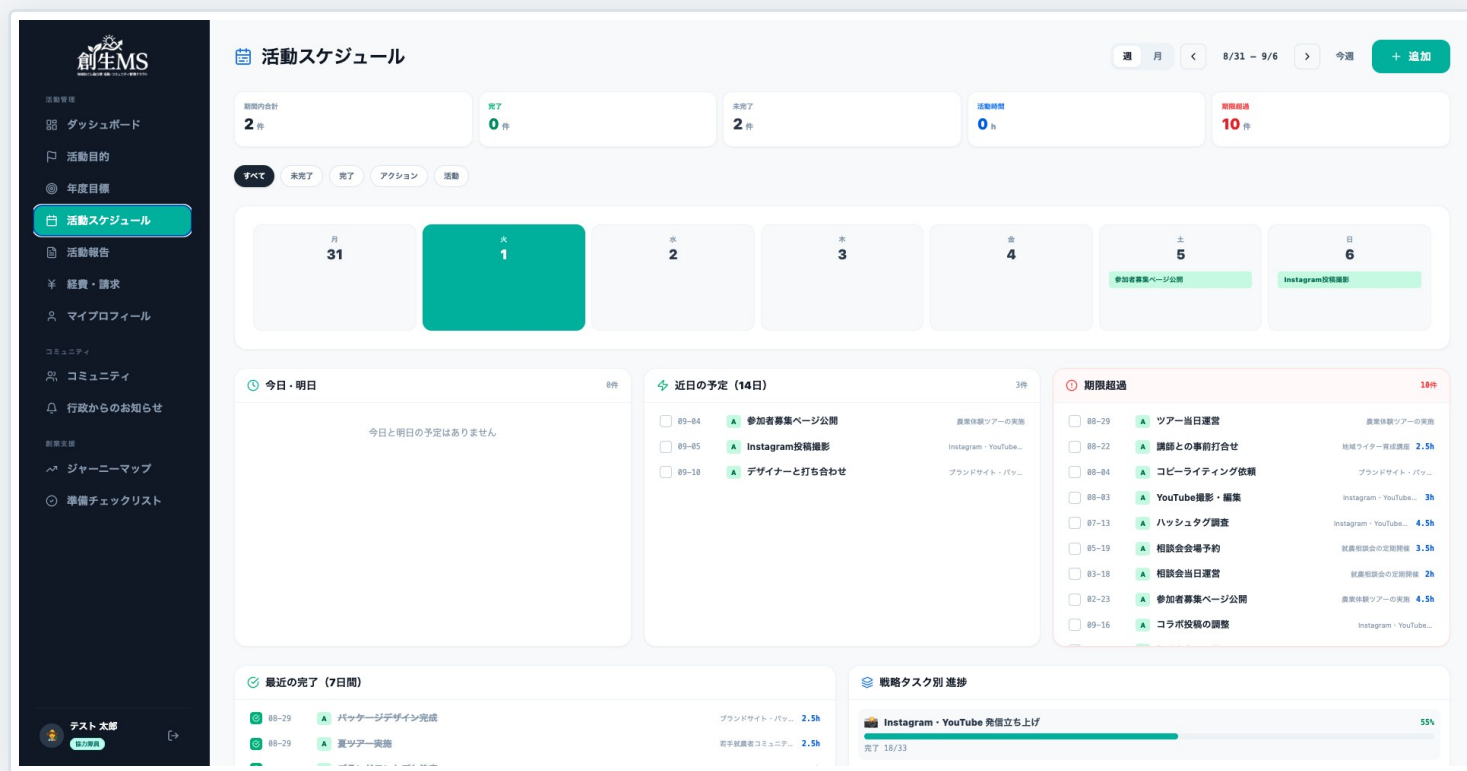
● 締切スタックで抜けが止まる

期限を過ぎたアクションが「401日超過」と赤く積み上がり、近づくものは「残3日」と出ます。遅れの方から出てきます。

● 四半期に目標を置く

カレンダー表示に切り替えると、どの四半期に何を達成するのが月単位で並びます。「期限未設定」も別枠で残らず出ます。

活動スケジュール — 週単位で、やることと遅れが並ぶ



隊員が使う画面

● 週と月を切り替える

週表示では月曜から日曜が横に並び、予定のある日にアクション名が入ります。期間内の件数・完了・未完了・活動時間が上部に集計されます。

● 期限超過が赤で積み上がる

この画面では 10 件。日付・アクション名・紐づく戦略タスク・想定時間まで並ぶので、どれから片づけるかがその場で決まります。

● 近日の予定は 14 日先まで

次の 2 週間で手を動かすことが一覧になります。「アクション」と「活動」で絞り込めるため、実務と予定を分けて見られます。

活動報告 ― 月次と年次を、同じ場所で書く

月次報告

2026 年 9 月 ・ 38.5h ・ 経費 ¥28,518

活動報告

月次報告 年次報告 PDF出力

2026年9月報告

活動時間: 38.5h アクション: 3件 活動: 6件 経費: ¥28,518

【倉住2年目 / 2026年9月】首都圏理事デビュー

■ 今月のハイライト
首都圏の食フェスに初出席。町の魅力を直接届け、リピーター獲得と法人からの引合いを得た。

■ 主な成果
・ 催事売上 目標比 130%達成
・ 法人ロケット引合い 3件 (うち1件成約)
・ EEC本番リリース、初月売上30万円

■ 課題と気づき
・ 首都圏スタッフのサインが早発でノウハウが蓄積しにくい
・ 在庫と発送のオペが個人依存

■ 高注目案件

完了した活動一覧

日付	活動名	所要時間
2026-09-04	サイト企画・設計	6.5h
2026-09-05	アクション 第1回講座実施	4.5h
2026-09-16	月間 5,000 PV 達成	3.5h

年次報告

2026 年度 ・ 218.5h ・ 経費 ¥244,722

活動報告

月次報告 年次報告 PDF出力

2026年度 年次報告

活動時間: 218.5h アクション: 22件 活動: 36件 経費合計: ¥244,722

【2026年度 年次総括】～ 事業展開の年 ～

■ 年度概要
2年目に入り、初年度に築いた基盤を活用して事業展開のフェーズへ。特に就業支援と法人取引の定常化に注力し、収益性の確保にも踏み込んだ。関係人口プログラムの本格運用も開始した。

■ 主要成果
・ 新規就業マッチング成立 3件 (うち2件が本格移住)
・ 法人ロケット取引 15社と定常化 (月商 平均 180万円)
・ 関係人口サポーター制度を開始。登録者 120名達成
・ 産ブランド認証を2品目で取得
・ 海外バイヤー面談参加 (香港・台湾)
・ 地元加工事業者との共同ライン開設

■ 数値サマリー
・ 完了アクション件数: 198件
・ 総活動時間: 1,420時間
・ イベント主催: 8件 (観客数 1,150名)
・ 掲載収入: 14件

■ 課題
・ 現場の忙しさに追われ、戦略的な発信の頻度が減少
・ 行政と民間の手続きスピード差
・ 後継育成プログラムの立ち上げ遅れ

■ 次年度計画

● 集計は自動、言葉は自分で

活動時間・アクション件数・活動件数・経費は日々の記録から自動集計。書くのは「今月のハイライト」「主な成果」「課題と気づき」だけです。

● 年次はその積み上げ

月次を 12 回書けば、年次総括の材料が揃います。年度の総活動時間・完了件数・経費合計がそのまま出ます。

● 課題も残す前提の欄

成果だけでなく「課題と気づき」を書く欄があります。引き継ぎのとき、いちばん価値があるのはここです。

PDF 出力 — 提出する書類が、そのまま出てくる

2026年9月 活動報告書

氏名	テスト 太郎
活動地域	青森県 上北郡野辺地町
活動分野	地域ブランド・特産品開発
報告期間	2026年9月1日 ～ 2026年9月30日
活動時間	38.5時間
件数	アクション 3件 / 活動 6件

活動一覧

日付	種別	内容	時間
2026-09-04	活動	観光ポータルサイト運営 サイト企画・設計	6.5h
2026-09-08	活動	地域ライター育成講座 第1回講座実施	4.5h
2026-09-16	活動	地域ライター育成講座 月間 5,000 PV 達成	3.5h
2026-09-17	活動	Instagram・YouTube 発信立ち上げ サイト公開	6h
2026-09-18	活動	就業相談会に参加開催 春ツアー実施	6.5h
2026-09-19	活動	ブランドサイト・パッケージ公開 ブランドLPワイヤー作成	1h
2026-09-20	活動	地域ライター育成講座 受講者募集チラシ配布	5h
2026-09-25	活動	ブランドサイト・パッケージ開発 LP 公開	1.5h
2026-09-26	活動	就業体験ツアーの実施 秋ツアー実施	4h

月次コメント

【新任2年目 / 2026年9月】 首脳副理事デビュー

■ 今月のハイライト
首脳副の食フェスに初出席。町の魅力を直接届け、リピーター獲得と法人からの引合いを得た。

■ 主な成果
・催事売上 目標比 130%達成
・法人ロット引合い 3件（うち1件成約）
・EC本番リリース、初月売上30万円

月次 活動報告書

2026年度 年次活動報告書

氏名	テスト 太郎
活動地域	青森県 上北郡野辺地町
活動分野	地域ブランド・特産品開発
年度	2026年4月1日 ～ 2027年3月31日

総活動時間	完了アクション	完了活動	経費合計
218.5h	22件	36件	¥244,722

戦略タスク別 活動集計

戦略タスク	件数	時間
観光ポータルサイト運営	5件	19h
生産者ネットワークの構築	0件	0h
販路開拓（ふるさと納税・卸）	0件	0h
ブランドサイト・パッケージ開発	10件	35h
Instagram・YouTube 発信立ち上げ	7件	27h
地域ライター育成講座	6件	29.5h
就業体験ツアーの実施	11件	36.5h
若手就業者コミュニティ運営	9件	26h
就業相談会の定期開催	10件	45.5h

年次総括

【2026年度 年次総括】 ～ 事業展開の年 ～

■ 年度概要
2年目に入り、初年度に築いた基盤を活用して事業展開のフェーズへ。特に就業支援と法人取引の定常化に注力し、収益性の確保にも踏み込んだ。関係人口プログラムの本格運用も開始した。

■ 主要成果
・新船就業マッチング成立 3件（うち2件が本格移住）
・法人ロット取引 15社と定常化（月商 平均 180万円）
・関係人口サポーター制度を開始、登録者 120名達成
・県ブランド認証を2品目で取得
・海外バイヤー商談参加（香港・台湾）
・地元加工事業者との共同ライン新設

年次 活動報告書

● 様式がそのまま整う

氏名・活動地域・活動分野・報告期間がヘッダーに入り、活動一覧が日付・種別・内容・時間の表になります。転記も清書ありません。

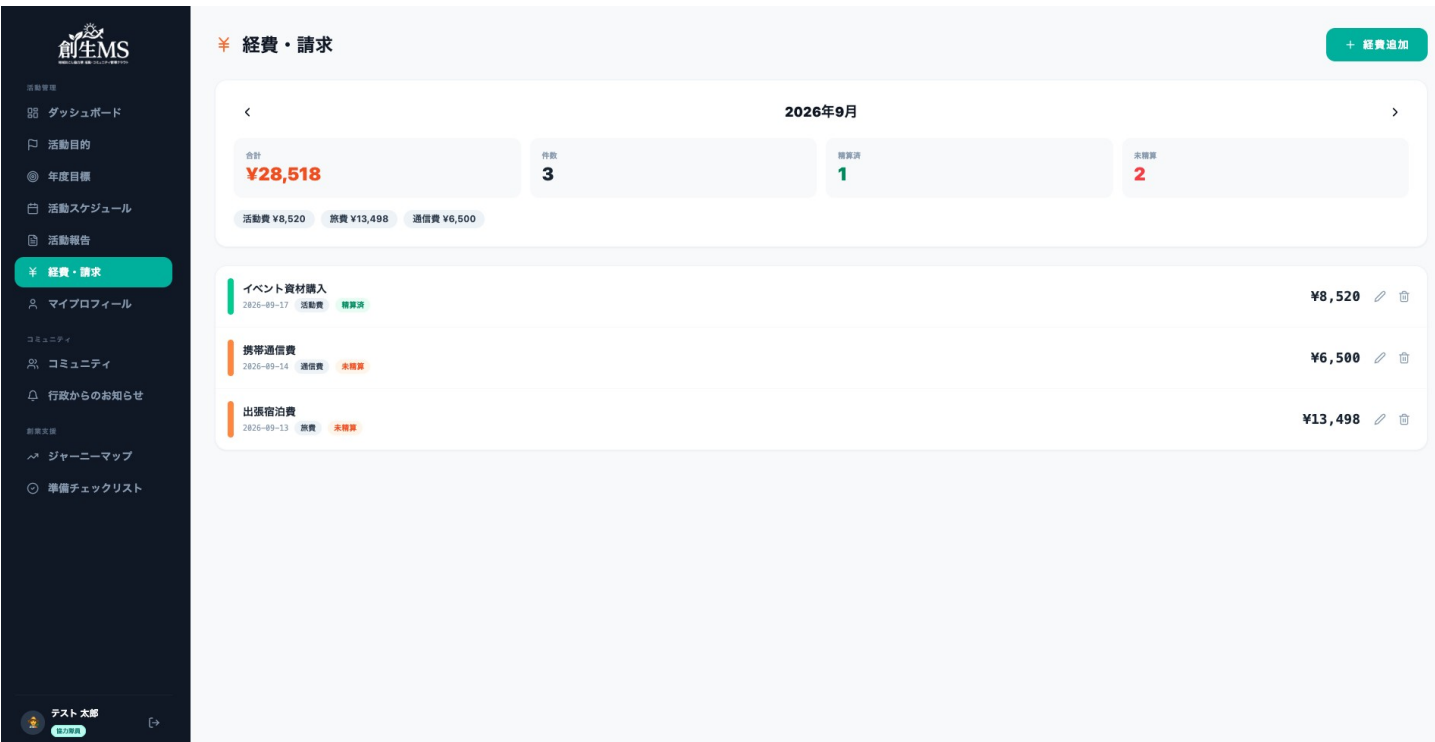
● 年次は集計表つき

年次の報告書には「戦略タスク別 活動集計」が付き、9 件の戦略タスクごとに件数と時間が並びます。年度末の実績報告にそのまま使えます。

● そのまま印刷・提出

ブラウザから PDF で出力し、印刷もできます。いま自治体で使っている様式に合わせられるかは、デモの場でご相談ください。

経費・請求 ― 精算の状態が、月ごとに揃う



創生MS

経費・請求

2026年9月

合計 ¥28,518

件数 3

精算済 1

未精算 2

活動費 ¥8,520 旅費 ¥13,498 通信費 ¥6,500

項目	日付	金額	状態
イベント資料購入	2026-09-17	¥8,520	精算済
携帯通信費	2026-09-14	¥6,500	未精算
出張宿泊費	2026-09-13	¥13,498	未精算

隊員が使う画面

● 月次で締める

月を切り替えて、合計・件数・精算済・未精算が並びます。この月は3件で¥28,518、うち2件が未精算という状態がひと目で分かります。

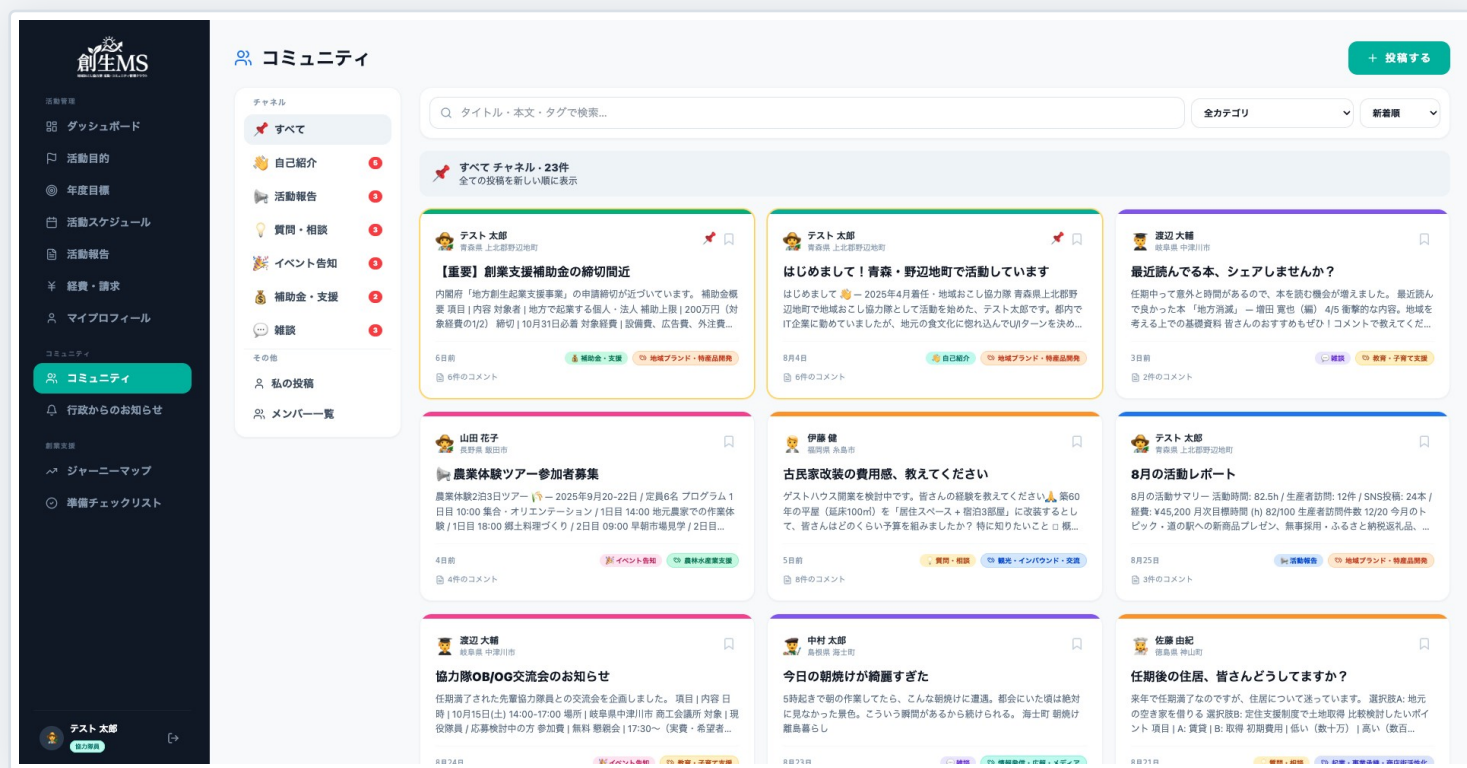
● 費目で内訳が出る

活動費 ¥8,520 / 旅費 ¥13,498 / 通信費 ¥6,500。年度予算の消化状況と突き合わせられます。

● 1件ずつ状態を持つ

日付・費目・「精算済／未精算」が各行に付き、色でも区別されます。担当職員はまだ精算していないものだけを見れば済みます。

コミュニティ — 全国の協力隊が、チャンネルで話す



隊員が使う画面

● 目的別のチャンネル

自己紹介／活動報告／質問・相談／イベント告知／補助金・支援／雑談。話題が混ざらないので、必要な相手と情報にたどり着けます。

● 県を越えたつながり

青森・岐阜・長野・福岡・島根・徳島。投稿者の所属自治体が並びます。研修会の機会に限られていた県境を越えた交流が、日常的に起こります。

● 検索とタグで探せる

タイトル・本文・タグで検索し、カテゴリと並び順で絞り込み。「古民家改装の費用感」「任期後の住居」など、先に行く人の実例が見つかります。

行政からののお知らせ — 省庁・県・市町村から、隊員へ直接

The screenshot displays the 'お知らせ' (Notice) section of the 創生MS system. The left sidebar contains navigation links such as 'ダッシュボード', '活動目的', '年度目標', '活動スケジュール', '活動報告', '経費・請求', 'マイプロフィール', 'コミュニティ', and '行政からのお知らせ' (highlighted). The main content area shows a grid of notices. The top filter bar indicates '全て 36' (Total 36) and '自分の地域 (青森県)' (Own region (Aomori Prefecture)). Below this, filters for '省庁' (Ministry) and '都道府県' (Prefecture) are visible. The notices are organized by date, with the most recent at the top. Each notice card includes a title, a brief description, and a date. The notices are categorized by region: 野辺地町 (Noheji Town), 青森県庁 (Aomori Prefecture), 富良野市役所 (Furano City Office), 総務省 (Ministry of Internal Affairs), 農林水産省 (Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries), 東京都庁 (Tokyo City Office), 北海道庁 (Hokkaido City Office), 国土交通省 (Ministry of Land, Infrastructure and Transport), and 沖縄県庁 (Okinawa Prefecture Office).

行政が投稿し、隊員が受け取る

● 三つの層から情報が届く

総務省・農林水産省・国土交通省などの公募情報が、県庁・市町村のお知らせと同じ画面に並びます。省庁の情報を探しに行く必要がありません。

● 発信元で絞り込める

省庁別（総務省 4 件・内閣府 2 件…）、都道府県別（北海道 4 件・沖縄県 3 件…）で絞り込み。「自分の地域」だけに絞ることも、全国 35 件を見ることができます。

● 1 件ずつ開いて質問できる

詳細画面には対象地域・交付要件・申請期間・事務窓口まで載り、コメント欄でその場で質問できます。

行政が使う画面

隊員の入力を、担当職員の視点で組み替えたものです。新しく入力する項目はありません。

● 協力隊員 管理ダッシュボード

担当隊員数・活動件数・完了率・累計活動時間・完了アクション、そして隊員別の状況一覧。

● 配下の協力隊員

担当する隊員の名簿と個別の状態。誰がどの目的を担っているかを把握。

● 配下隊員の活動報告

月を切り替えて、担当隊員数・報告提出 n/n ・月間アクション・月間活動時間を集計。未提出者が一覧で分かる。

● 配下隊員の年度目標

年度ごとに、隊員それぞれの目標と達成状況を並べて確認。

● 配下隊員の活動スケジュール

「全員表示」で複数隊員の予定を重ねて確認。週間／月間切替。

● 行政からのお知らせ（投稿）

市町村・都道府県それぞれの権限で、担当する隊員へ一斉配信。タグ付け・コメント対応。

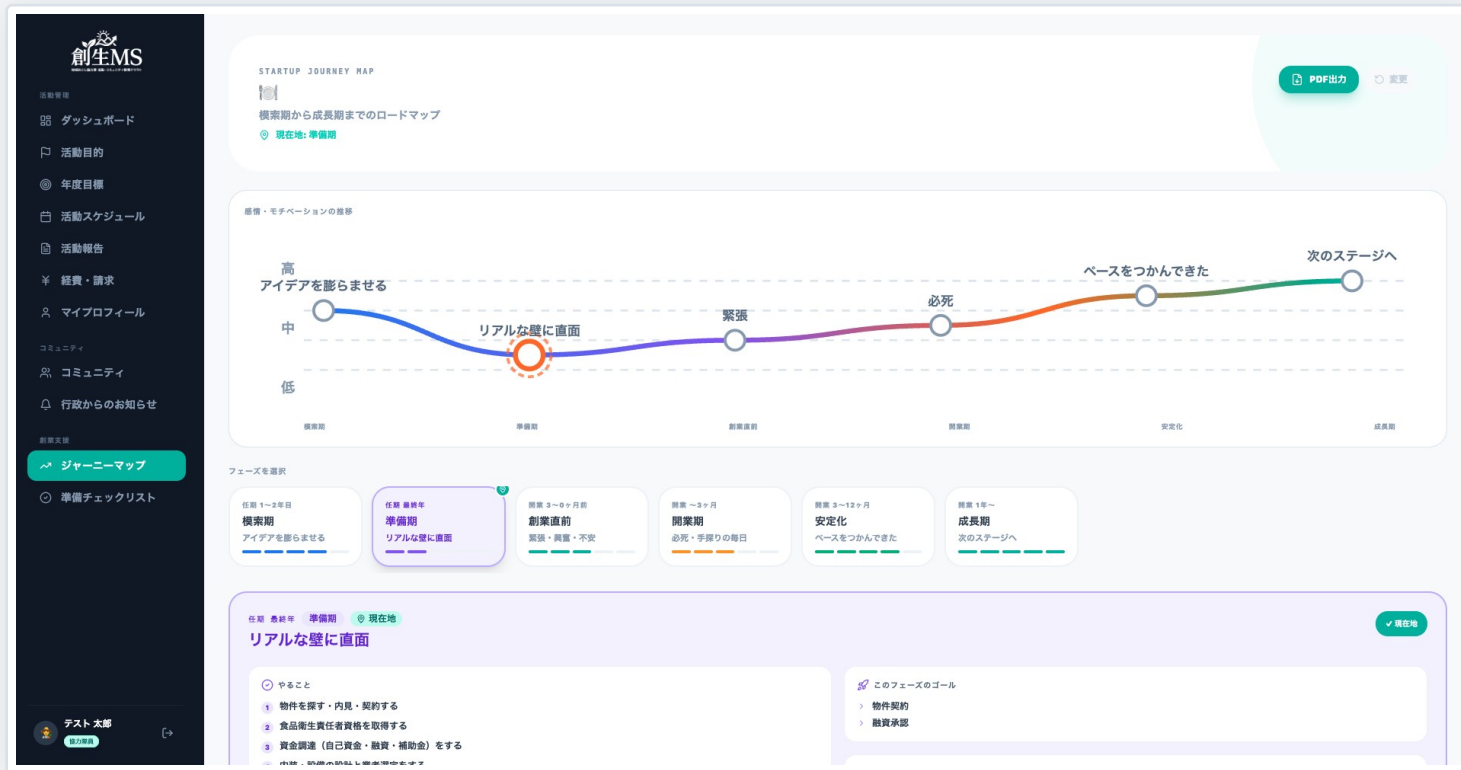
協力隊員 管理ダッシュボード — 担当する全員が 1 画面に



行政が使う画面

- **名簿ではなく、状態**
担当隊員数・活動件数・完了率・累計活動時間。担当する隊員全体の動きが、開いた瞬間に分かります。
- **止まっている隊員が浮かぶ**
隊員別状況で進捗と今月の活動が並ぶため、動きが少ない隊員が探さずに見つかります。面談のタイミングを勘に頼らず決められます。
- **報告の提出状況も別画面で**
「配下隊員の活動報告」では報告提出 n/n を月ごとに集計。未提出者を探して督促する作業がなくなります。

任期後の人生設計を、任期中から始める。



隊員が使う画面 - ジャーニーマップ

● 感情の推移まで描かれている

模索期の「アイデアを膨らませる」から準備期の「リアルな壁に直面」まで、先を行った人がたどった気持ちの上下が線で示されます。落ち込む時期が事前に分かっていることが、辞めない支えになります。

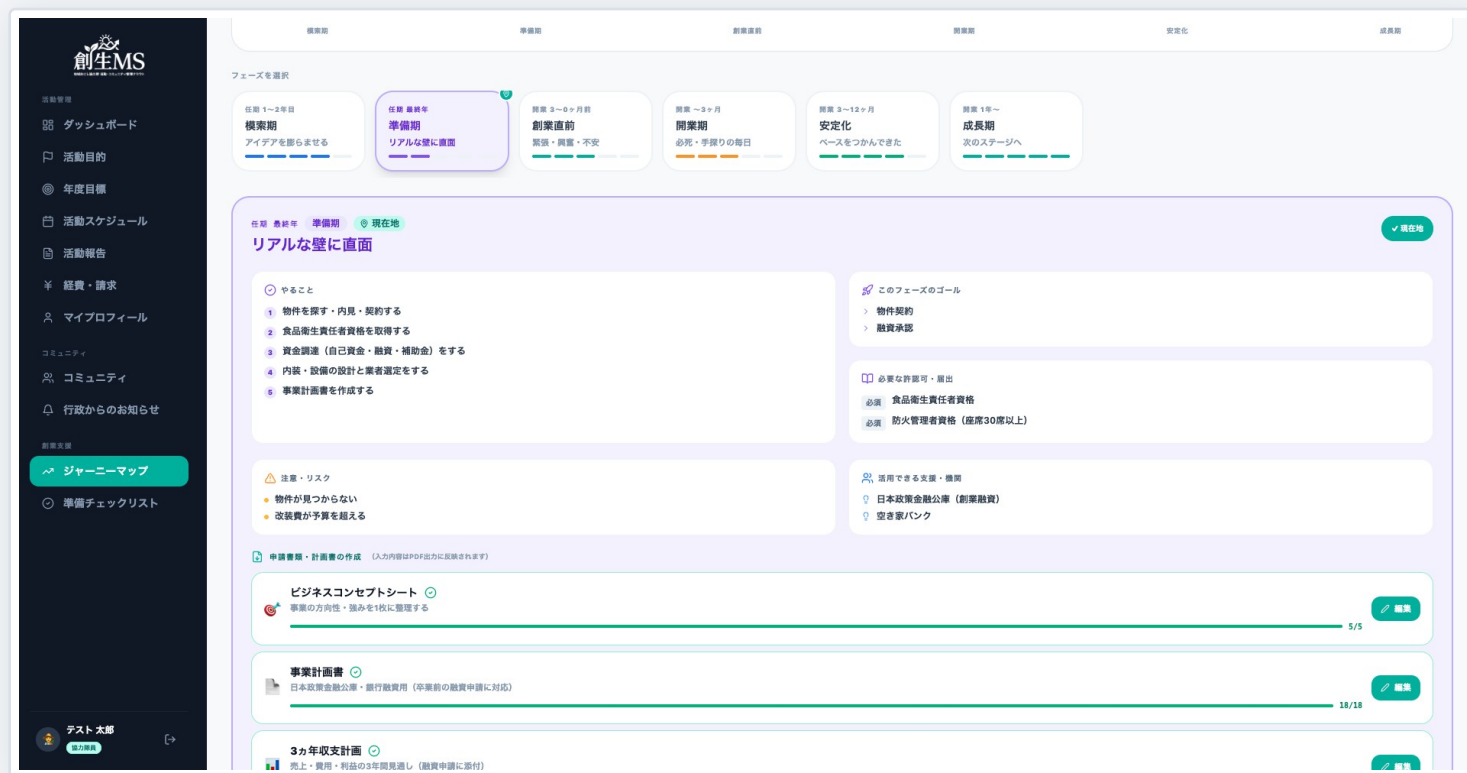
● 6 フェーズで現在地が分かる

任期 1～2 年目の模索期から、開業 1 年後の成長期まで。いま自分がどこにいるかが「現在地」として表示されます。

● 業種ごとに中身が変わる

飲食店・カフェ、宿泊・民泊など、業種を選ぶとやることと許認可が入れ替わります。

フェーズ詳細 — やること・許認可・リスクが具体的に並ぶ



隊員が使う画面

● やることが5つに絞られる

「物件を探す・内見・契約する」「食品衛生責任者資格を取得する」「資金調達をする」。順番付きで並ぶので、次に何をすればよいか迷いません。

● 許認可とリスクが先に見える

必須の資格・届出と、「物件が見つからない」「改装費が予算を超える」といった落とし穴が、直面する前に提示されます。

● 支援機関まで紐づく

日本政策金融公庫、空き家バンクなど、そのフェーズで頼れる先が並びます。下部では申請書類の記入率（5/5・18/18）が進捗として見えます。

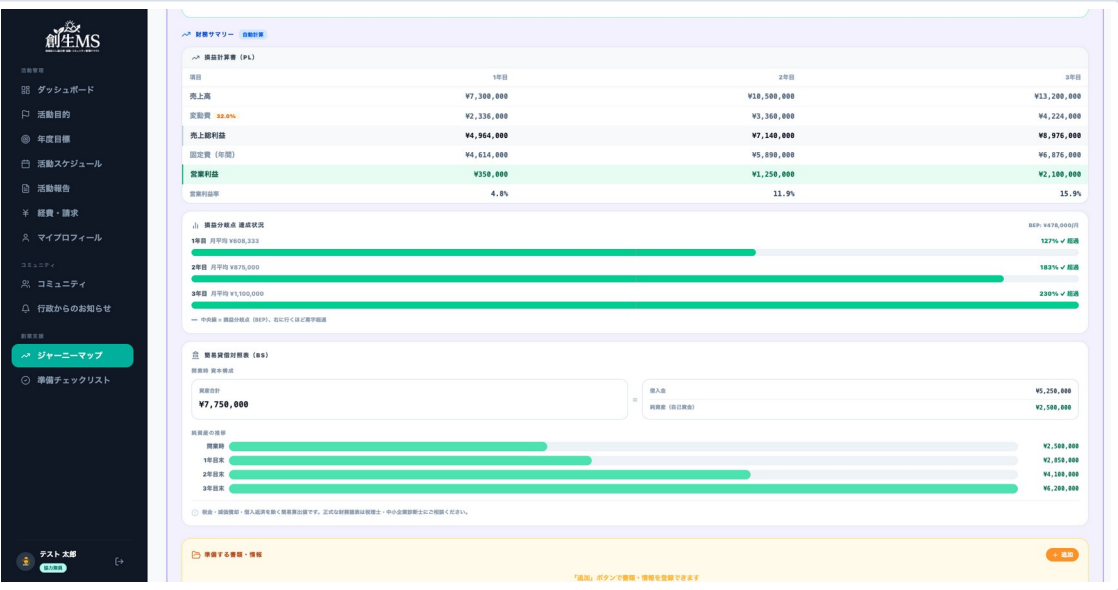
創業計画書 — 入力すると、融資に出せる書類になる

財務サマリー（自動計算）

PL・損益分岐点・簡易BS

出力した創業計画書

SECTION 03 3ヵ年収支計画



- 数字は入れば計算される
- 根拠つきの計画書になる
- 融資の説明資料が完成する
- 売上と費用を入れると、3年分の損益計算書・損益分岐点・簡易貸借対照表が自動で出ます。「BEP ¥478,000/月」に対して1年目127%」まで判定されます。
- 「客数25名/日 × 客単価1,500円 × 220日」のような積算式まで残るため、金融機関に説明できる形になります。
- 表紙・事業計画書・3ヵ年収支計画がPDFで出力されます。日本政策金融公庫や地方銀行への相談に、そのまま持っていきます。

導入で、何が変わるか

実際に地域おこし協力隊として活動しながら開発した立場から、現場の5つの場面で「いま」と「導入後」を並べました。

	いま		創生 MS 導入後
引き継ぎ 自治体担当者	前任者の記憶と Excel。担当が代わると経緯が消える	→	目標・活動・経緯が画面に残る。着任からの3年分をそのまま引き継げる
事務作業 隊員	報告のたびに手帳やメモから転記。月末は事務に追われる	→	日々の記録から月次報告が出力される。地域に出る時間が増える
任期後 隊員	任期が終わってから進路を考え始める。相談先も自分で探す	→	任期中から創業計画書ができる。許認可も支援機関もフェーズごとに出る
情報収集 隊員・自治体	省庁や他県の情報は、担当職員が調べて個別に伝える	→	省庁・県・市町村のお知らせが同じ画面に届く。全国の実践も見られる
横の連携 県・市町村	県は各市町村に照会しないと分からない	→	県が県内の状況を同じ画面で把握。県境を越えた交流が日常になる

住民との交流に使える時間が増え、近隣自治体の隊員とつながる。 **この2つが、最終 KPI である定住率に効いてきます。**

費用と、その財源。

導入は市町村単位、または県単位。隊員の報償費・活動経費には手を付けず、行政の運営経費と団体単位の特別交付税措置で賄う設計です。

STANDARD — 市町村単位

初期費用

初期設定・データ移行・操作説明

50 万円

月額利用料

隊員 20 名まで／行政アカウント数無制限

40 万円

年間負担額

初年度 **530** 万円 / 次年度以降 **480** 万円

県単位での導入なら、**県内の市町村がひとつの基盤を共有**できます（個別お見積り）。

金額はすべて税別です。隊員 21 名以上、複数市町村での共同利用は個別にお見積りします。

財源の考え方（特別交付税措置）

団体単位の措置 — システム費への充当を検討できる

隊員のサポート体制構築に要する経費 **200 万円 / 団体**

募集等に要する経費 **350 万円 / 団体**

隊員本人のための措置 — システム費には充当しません

隊員 1 人あたり（報償費等＋活動経費） **550 万円 / 人**

起業・事業承継支援 **100 万円 / 人**

創生 MS は自治体の運営基盤として導入するものです。隊員の報償費・活動経費を原資にすることは想定していません。措置額はいずれも令和 7 年度時点の上限額で、補助金ではなく特別交付税措置です。充当可否は財政担当課にご確認ください。

導入の流れ

現在お使いの報告様式をお持ちいただければ、その様式のまま出力できるかどうかも含めてご相談に乗ります。



約 1 時間

デモとヒアリング

実際の画面をご覧くださいながら、現在の報告・精算のやり方と、隊員の人数・任期をうかがいます。



1 か月

試用

試用アカウントを発行。担当職員と隊員数名で、1 か月分の実際の記録を入れて確かめていただきます。



2 ～ 3 週間

初期設定

活動目的・戦略タスク・年度予算の初期登録と既存データの移行。行政・隊員それぞれに操作説明。



継続

運用開始

月次報告のサイクルに乗せて運用開始。運用が固まるまで伴走してサポートします。



CONTACT

まず、実際の画面をご覧ください。

デモは自治体のご担当者さまであれば、どなたでもご覧いただけます。
貴自治体の隊員数・任期・現在の報告様式にあわせて、そのままご説明します。

地域創生マネジメントシステム「創生 MS」

iGrec 株式会社 — デジタル技術の地産地消

yshiroishi@i9rec.com

出典：総務省「地域おこし協力隊の活動状況等」令和 7 年度実績／総務省「地域おこし協力隊について」財政措置（令和 7 年度）／総務省「地域おこし協力隊の受入れに関する手引き 第 5 版」／JOIN「令和 7 年度 地域おこし協力隊アンケート集計結果の概要」